

学校教育目標

自ら伸びる

府中町学校教育の重点
「あいさつ・感謝・志」

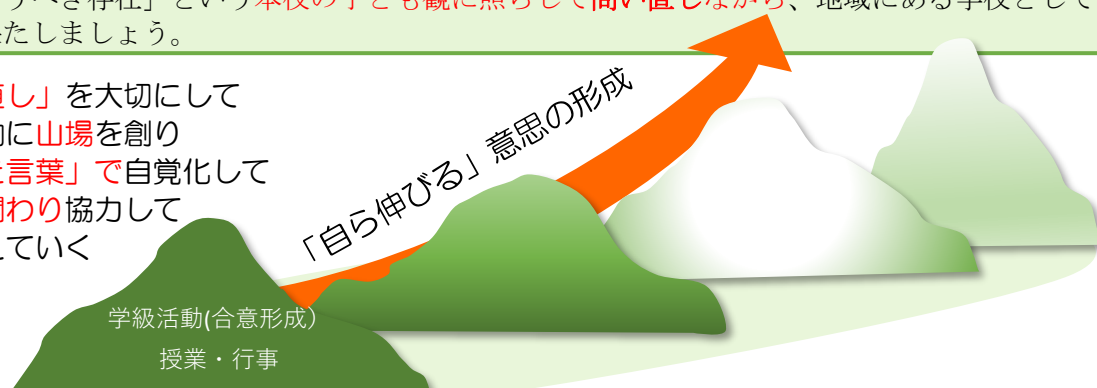
学校経営理念 「学校（地域）は子どもが育つ土壌である」

学校は人の集まる場所です。子どもも大人も成長し、育っていく場所です。人は環境に影響を受けながら、人との関わりの中で育ちつつ、自分で自分を創っていくものです。

小学校は、人間として成長していく確かな根っこ（基礎基本）を育てるところです。たとえば、植物の成長に必要な土壌です。土壌を柔らかく耕し、新しい空気を入れ、適度な水分や養分、温度があれば、植物はしっかりと根を張り、成長し、やがて自分の花を咲かせます。**しっかりと根を張り、成長し、やがて自分の花を咲かせる子どもは「発達の当事者」であり、未来の大人として敬意をはらうべき存在**です。

本校は、一人一人の子どもに発達の可能性を見出しながら、その子の根っこを太らせていく教育を追求します。教育活動の中にあらわれている子どもの姿をどう見ているのか、「しっかりと根を張り、成長し、やがて自分の花を咲かせる子どもは『発達の当事者』であり、未来の大人として敬意をはらうべき存在」という**本校の子ども観に照らして問い直し**ながら、地域にある学校としての使命を果たしましょう。

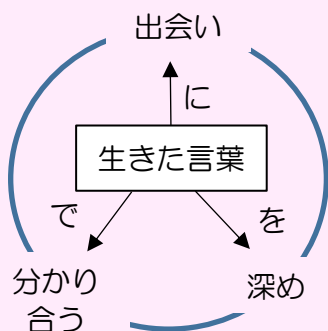
「問い直し」を大切にして
教育活動に**山場**を創り
「**生きた言葉**」で自覚化して
他者と関わり協力して
乗り越えていく



【教師こそ最大の教育環境】 学級経営力・授業力・自己認識力

～日々の教育活動の中に子どもをみつめる“まなざし”の研鑽～

「問い直し」のサイクル 【学びの型】



「生きた言葉」で暮らしを創る【はちの子の心得】

学校教育目標「自ら伸びる」		
学年経営	4・5月	どんな 学級 をめざし、それを自分たちはどう創るか？
	6・7月	どんな 授業 をめざし、それを自分たちはどう創るか？
学級経営 学級目標	9・10月	どんな 学年 をめざし、それを自分たちはどう創るか？
	11・12月	どんな 学び の姿をめざし、それを自分たちはどう創るか？
	1・2・3月	次の年にはどんな 学級・学年 をめざし、それを自分たちはどう創るか？

「じまんの俳句」で学級を創る

<ねらいたい資質・能力>

知識及び技能 場や相手に応じて適切な言葉や考えを 選択 していく。	思考力・判断力・表現力 他者との関わりの中で、自分の言葉を深め、自分の思いや考えを問い直し、「 生きた言葉 」で 表現 していく。	学びに向かう力・人間性 他者との関わりの中で、 自己認識力 を高め、より良い自分を求め考えていく。
--	---	--

<研究主題>

「自ら伸びる」意思を形成する学びの創造
～協働的な学びと個別最適な学びの一体化をめざして～

コミュニティ・スクールの「願い」

「あいさつ・感謝・志」で大人も子どもも



Happyに！

子どもが
育つ土壌を
つくろう！